

共同運営部門：患者サポートセンター

<スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
センター長 心臓血管外科主任部長	舩津 俊宏
副センター長 医療マネジメント課長	中西 賢

<関連部署>

部署名	部署名
診療局	看護局
診療支援局	事務局

<特色と概要>

2018年4月に「患者サポートセンター」を開設し、業務を遂行している。医師・看護師・MSW・薬剤師・栄養士・事務職員などの多職種のスタッフが集い、「安心を届けるサポートセンター」～入院前から退院後も一人ひとりを支えます～をスローガンに、地域の医療機関からの紹介窓口や入院前の支援など、幅広く医療サービスの提供に努めている。

1. 地域医療連携室の活動実績

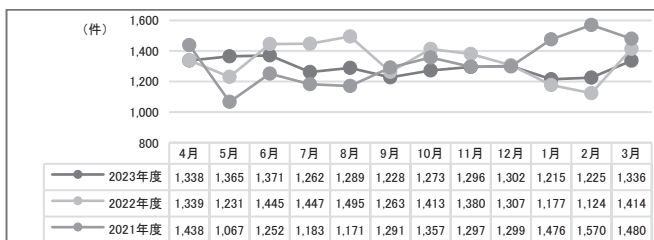
<業務>

地域医療連携室は、かかりつけ医である開業医、地域の病院、介護関連事業所の担当者等と連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務を行っている。また紹介患者受入の際に医療知識を有した看護師が対応することで適正な判断が実現でき、質の向上にもつながっている。

<実績>

地域医療予約件数(2023年4月～2024年3月) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	1,338	1,365	1,371	1,262	1,289	1,228	1,273	1,296	1,302	1,215	1,225	1,336	15,500



① 紹介率・逆紹介率(2023年4月～2024年3月) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	71.9	71.5	66.8	66.2	68.0	69.1	68.5	67.5	68.7	67.0	68.0	69.2	68.6
逆紹介率	146.1	149.3	153.6	161.0	126.0	141.7	143.4	134.1	136.4	133.0	162.7	171.2	146.5

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

地域医療支援病院の要件である「紹介率が50%以上かつ逆紹介率70%以上」を十分に達成した。

② 地域連携クリティカルパス導入件数(2023年4月～2024年3月)

地域連携クリティカルパス導入に積極的に関わっている。

● がん地域連携パス (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
乳がん	1	0	1	1	1	4	4	2	3	4	4	3	28
胃がん	2	4	3	1	5	6	1	0	2	0	2	4	30
大腸がん	4	8	4	8	7	4	6	3	4	5	4	5	62
合計	7	12	8	10	13	14	11	5	9	9	10	12	120

● 脳卒中地域連携パス (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳卒中	21	21	15	16	22	10	23	18	26	18	25	27	242

● 大腿骨地域連携パス (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大腿骨頸部骨折	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3

③ 医療従事者対象の勉強会・研修会(事務局)

地域医療連携室では、医師会等、地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

<りんくうカンファレンス>

<クリニカルレベルアップセミナー>

【詳細は現況のページ参照】

④ 市民健康講座の開催

本年度は感染対策のため全て中止とした。

2. MSWの活動実績

<業務>

MSWは患者とその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域の関係機関との連携を密にし、患者が安心して療養できるよう支援することを目的とした業務を行っている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。

<実績>

早期退院支援に向けた継続した取り組みとして各病棟で週2日、退院支援カンファレンスを行い、入院前の生活状況、介護福祉サービスの利用の有無、退院後の生活課題等、情報を共有し、患者・家族に入院後早期に退院支援が行えるよう取り組んだ。

退院調整においては、件数としては例年通り、転院調整が最も多く、調整件数は1,273件(前年度は1,196件)と、1月あたり約106件(入院患者のみ)の調整ということになった。また退院前に行ったカンファレンスについては前年度と比較して介護連携158件から139件と減少したが、共同指導120件から137件と増加している結果となった。また前年度に引き続きオンラインの退院前カンファレンスを6件(前年度は4件)行うことができた。今後も地域の関係機関との連携を強めながら、患者が安心して退院後の生活を送れるよう継続して取り組んでいく。

<対外活動実績>

① 大阪府産婦人科医会

安心母と子の委員会、泉佐野市周産期支援部会等は
例年活動しているが、今年度はコロナ禍で開催なし。

②南泉州地域医療介護連携協議会

泉州圏域における医療介護の連携体制の現状と課題・
これからの連携について協議を例年行っているが、前年
度に引き続き、今年度は開催なし。

③大阪緊急連携ネットワーク 地域連携担当者会議

3次救急病院と慢性期病院の連携についてオンライン
会議と会場会議(計4回)に出席した。

④大腿骨地域連携パス会議

泉州地域における大腿骨地域連携パスの運用につい
てメール会議にて意見交換を行った。

⑤脳卒中泉州地域リハ連携会議

南泉州地域におけるリハビリに関する課題について、
急性期病院、回復期リハ病院、医療療養型病院、連携
開業医と情報共有を行い、地域連携パスの運用につい
て協議(3回のオンライン会議)。

<各種調整実績と成果>

【転院調整実績】

(件)

	2022年度合計	2023年度合計
外来から他院	42	40
入院から他院	1,196	1,273

【在宅調整実績】

(件)

	2022年度合計	2023年度合計
在宅	397	365
(介護連携)	158	139
(共同指導)	120	137
施設	159	167

3. 看護師の活動実績

<特色と概要>

総合案内・前方予約支援を含め、「その人らしい生活
を支える」を目標に「情報を追跡する」をキーワードと
して取り組んだ。これまで同様の入院前支援の件数を
減らさずに、外来や病棟で患者に直接対応する機会を
増やし、患者対応強化のための「フロントナースの設置」
や部署間連携のための患者サポートセンター業務の可
視化「短期体験研修」を実践した。

これらの業務改善に取り組めたのは、小規模部署で
あることを強みに、プラチナ・シルバーナースは経験に
基づくACP支援で潜在的能力を発揮、中堅ナースは新た
な業務改善に企画段階から取り組み自己育成し、各世
代が相互に刺激し合いワークライフバランスとモチベ
ーションを保ちつつ役割を拡大出来たからであると考え
ている。

<実績・成果>

2023年9月から

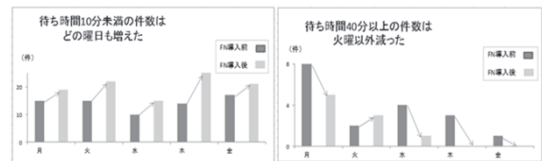


実践

- ・来られた時の患者様の身体・活動にあわせ介助をした
- ・表情や事前情報をもとに戸惑いや不安を予測し声掛けをした
- ・患者様と環境にあわせ問診のタイミングを調整した
- ・事前に情報を整理し多職種と連携し、効率化を図った

結果

- ・急病人発生、転倒事故、苦情はなかった
- ・待ち時間が大幅に短縮した



まとめ

- ・待ち時間が短縮し問診の時間(質)を確保できた

問診等患者SC看護師対応実績(月平均件数)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
患者SC利用総件数	365	383	416
予定入院患者SC利用件数	299	322	337
緊急入院患者SC利用件数	66	62	79
出張対応件数	69	63	82
夜間・緊急入院時の翌日対応件数	5	4	3
時間内入院患者人数	372	386	423
利用率	98.0%	99.2%	98.3%

手術関連(月平均件数)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
手術前支援指示対応件数	109	115	108
手術前説明・案内(外科・泌尿器科件数)	67	68	67
12才以下OP前電話風邪症状確認	-	12	23
12才以下風邪症状OP中止	-	5	7

患者SC関与の加算取得項目(月平均件数)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
入退院支援加算1	389	349	402
入院時支援加算1	94	76	79
入院時支援加算2	5	3	3
退院時共同指導科II	11	9	11
総合機能評価加算	270	254	304
周術期口腔機能管理後手術加算	2	10	20
新入院患者数	772	776	794

患者SCにおけるクリニカルパス説明・早期介入(月平均件数)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
ペースメーカーパス	1	2	2
心臓カテーテル・ABLパス	53	74	60
消化器内科 EMR1 泊2日入院パス	29	23	23
泌尿器科パス	18	15	17
整形外科パス	12	14	16
脳外科パス	5	5	5
外科パス	-	-	6
緩和ケアスクリーニング	46	61	58
認知症スクリーニング	236	248	271
嚥下スクリーニング	189	202	216

強化の取り組み(月平均件数)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
患者SC内、看護師MSWミーティング開催件数	34	20	18
(入院時)退院支援カンファ参加件数	46	393	435
(2回以上)退院支援カンファ参加件数	0	51	67
メッセージノート配布数	-	89	96

<来年度への抱負>

コロナ禍においても減少させることがなかった実績に甘
んじることなく、今年度、整備する事ができた体制のもとで、
実践内容を分析し、より近隣地域情勢に沿った対応をめざ
していく。